



越谷市

令和6年(2024年)10月24日

報道機関 各位

## 麻しん(はしか)患者の発生に伴う注意喚起について

令和6年10月23日(水)、市内において麻しん患者の発生を確認しました。

本公表は、患者の行動等の調査において、麻しん患者が感染可能期間内に不特定多数の方との接触があった可能性も否定できないため、広く情報提供するものです。

接触機会については、下記の通りです。

特に麻しんワクチン未接種の方については、下記「利用した日」から21日以内に、発熱・発疹など、麻しんを疑う症状が現れた場合には、速やかに医療機関の受診をお願いします。

医療機関受診の際は、医療機関に事前に連絡したうえで、マスクの着用を徹底いただき、周囲の方へ感染を拡げないように、公共交通機関等の利用は避けてください。

麻しんウイルスの空気中での生存期間は、2時間以下とされています。  
現時点において麻しん患者が利用した施設等を利用して心配はありません。

### 記

#### 【感染可能期間に患者が利用した公共交通機関と区間】

利用した日：10月11日(金)

東武スカイツリーライン	新越谷駅(14:30 頃発)	→	北千住駅(15:00 頃着)
JR常磐線	北千住駅(15:00 頃発)	→	東京駅 (15:30 頃着)
東海道新幹線	東京駅 (15:57 発)	→	新富士駅(17:03 着)

※こだま 739 号自由席 4号車又は5号車を利用

※感染可能期間に、上記以外の公共交通機関の利用はありません。

※上記交通機関への直接のお問い合わせはくれぐれもお控えください。

#### 【患者の概要】

30歳代 男性

発症日：令和6年10月12日(土)

発生届出日：令和6年10月22日(火)

検査確定日：令和6年10月23日(水)

主な症状：咽頭痛、咳、倦怠感、発熱、発疹 麻しん予防接種歴：1回

※保健所において疫学調査を実施し、接触者(同一空間で20分以上の接触があった者)の健康観察を実施しています。現在までに接触者が発症したとの情報はありません。

## 【市民の皆様へ】

- 麻しんは、感染力が極めて強い感染症で、免疫のない人が感染すると、年齢を問わずほとんどが発病します。
- 感染すると10日から12日の潜伏期間（症状のない期間）を経て、38℃程度の発熱、風邪のような症状（咳や鼻水など）が現れ、2～3日間続きます。  
その後、39℃以上の高熱となり、体中に赤い発疹が出現します。
- 症状や経過から「麻しん」が疑われる場合は、事前に医療機関に「麻しんかもしれない」ことを連絡し、必ずマスクを着用して速やかに受診してください。
- 麻しんは、麻しんウイルスによって引き起こされる病気であり、空気感染、飛沫感染、接触感染でヒトからヒトに感染が伝播するため、換気の徹底が重要です。
- また、有効な予防方法はワクチン接種です。2回接種による免疫獲得率は97～99%以上と報告されており、発症リスクを最小限に抑えることが期待できます。  
麻しんの定期予防接種（第1期：1歳児、第2期：小学校就学前の1年間）をまだ受けていない方は、かかりつけ医に相談し、早めに予防接種を受けましょう。

## 【報道機関の皆様へ】

- 本情報提供は、感染症の拡大防止のために行うものですので、報道機関各位におかれましては、患者等の個人に係る情報について、プライバシー保護等の観点から、提供資料の範囲内での報道に、格段の御配慮をお願いします。

## <参考情報>

- ・埼玉県ホームページ「麻しん及び風しん流行情報」

<https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/masinn.html>

- ・厚生労働省ホームページ「麻しんについて」

[https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/measles/index.html](https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/measles/index.html)

- ・国立感染症研究所ホームページ「麻しんとは」

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/518-measles.html>

## 【問い合わせ】

越谷市保健所 感染症保健対策課  
電話048-973-7531